

岡山県新見市観光パンフレット

OKAYAMA NIIMI
GUIDE BOOK

にいな

絶景／美食／鍾乳洞／温泉／アウトドア

さあ、
自然と旅しよう。



自然と旅する、自然を遊ぶ



にいみ

岡山県の北西端に位置する新見市。

大小200余りの鍾乳洞や風情あふれる温泉、自然を満喫できるアクティビティなど、

心を動かす絶景や特別な体験が、あなたを待っています。

日本最古の蔓牛をルーツにもつ希少なブランド牛「千屋牛」や、

日本有数のカルスト地形にある土や寒暖差を生かして作るピオーネやワインなど、

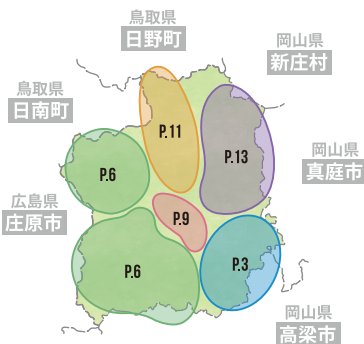
食通からも一目置かれるグルメも見逃せません。

清らかな空気と豊かな自然、美食を楽しみに、新見トリップに出かけませんか？



Contents

新見市の6つのエリアをご紹介します



→全体マップ P.18



P.3 南東エリア

自然の芸術を巡る



P.6 北西・南西エリア

豊かな自然と温泉、文化に浸る



P.9 中央エリア

歴史・文化が薫るまちを散策



P.11 北エリア

人気の温泉と四季の自然に親しむ



P.13 北東エリア

高梁川源流に位置する大自然



P.15

アウトドアスポットで自然と遊ぶ！



P.17

文化・歴史、宿泊情報

Special gourmet

A級の誇り

豊かな水源と肥沃な土壌で育まれる新見のA級食材。
生産者のこだわりと情熱がたっぷり詰まった「A級の誇り」をぜひご賞味ください。



ちや千屋牛

日本最古の蔓牛をルーツとする希少なブランド牛。きめ細かな霜降りと肉の甘みに特徴があり、柔らかく上質な味わいを楽しめる。新見に来たら必ず食べたい逸品。

【千屋牛振興会】
※指定販売店や外食店情報は千屋牛振興会HPを参照



ピオーネ

「黒いダイヤ」と呼ばれ、大粒で甘みの強いピオーネ。昼夜の寒暖差が大きい標高400～500mのカルスト台地が良質なブドウを生み出している。食べ頃は9月中旬～10月初旬。

【あしん広場特産館】
新見市正田397-2
☎0867-72-7705



キャビア

澄んだ美しい水で育てられたチョウザメの新鮮な卵からフレッシュキャビアを製造。「MSファーム」では、チョウザメの養殖場見学やキャビアの試食もできる。

【MSファーム】
新見市唐松2292
☎0867-76-2000



紅茶

紅茶の本場・ダージリン地方と酷似した地形と気象条件がそろう大佐山の太日高原で作られている紅茶。国内外で高く評価されており、簡単な紅茶づくり体験などもできる。

【アーリーモーニング】
新見市大佐小阪部2239-8
☎0867-98-3939



ワイン

寒暖差がある気候と水はけのよい石灰岩質の土壌で栽培されるブドウを使ったワイン。市内には栽培から醸造まで行う気鋭のワイナリーが3つあり、国内外から注目を集めている。

Wine&Grain
COLTRADA

domaine
tetta

岡山ワインバレー
荒戸山ワイナリー

黒髪山
葡萄園



日本酒

幻の品種と言われた雄町や山田錦など地元産の酒米や高梁川源流の伏流水など原料にこだわり、代々受け継がれる匠の技で醸造。品評会でも高く評価されている。

【三光正宗】
新見市哲西町上神代951 ☎0867-94-3131



※ワイナリーや施設見学を希望される場合は、各施設へ事前にお問い合わせください。



地底湖にかかる「竜宮橋」。時期によってライトアップの色が変わる

Southeast Area

自然の芸術を巡る

南東エリア



カルスト台地が広がり、鍾乳洞のさまざまな姿を体感できる南東エリア。巨大な石灰岩のアーチや滝など、ここでしか見られない絶景に出会えます。そばの名店や縄文アートの美術館にも立ち寄って。

1 満奇洞 まきどう

【岡山県指定天然記念物】

新見市豊永赤馬2276-2
☎0867-74-3100



歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻が「奇に満ちた洞」と絶賛したことから、その名がついた鍾乳洞。悠久の時を経て生み出された自然の造形美が、色彩豊かなLED照明でライトアップされ、幻想的な世界が広がる。洞窟内をリアルに体験できる「満奇洞VRサイト」を公開中。

満奇洞VRサイトはこちら



1.入口がハート形に見える「恋人の泉」は人気の撮影スポット。「恋人の聖地」にも選定されている 2.雨水や地下水が石灰岩を侵食してきた鍾乳洞。洞内は常に15℃前後のため、夏は涼しく、冬は暖かい 3.入洞してすぐに現れる「五重の塔」。「満奇洞」は映画・ドラマ「八つ墓村」のロケ地としても有名 4.洞窟の上部にある遊歩道では、紅葉も楽しめる



「井倉洞」の出口はココ!

「井倉洞」の入口は断崖絶壁にあり!

2 井倉峡 いくらきょう

新見市井倉・草間・法曾



高さ約240mの石灰岩の絶壁は圧巻。岩壁の内部には、巨大な鍾乳洞「井倉洞」が広がる。県内屈指の紅葉の名所としても有名。



3 井倉洞 いくらどう

【岡山県指定天然記念物】

新見市井倉409
☎0867-75-2224



全長約1.2km、高低差約90mにおよぶ鍾乳洞。洞内では「銀すだれ」「くらげ岩」と名付けられた奇石や怪石などが次々と現れる。高さ約50mの天の岩穴から流れ落ちる滝もあり、自然の偉大さや大地の力強さを間近で感じられる。



井倉峡のエリアには、1943年に製造され、お召し列車をけん引したこともある蒸気機関車D51838号（鳳凰のレプリカ装飾有）が展示されている

4 羅生門 らしょうもん

【国指定天然記念物】

新見市草間4484-1
☎0867-72-6136(新見市商工観光課)
☎0867-72-6148(新見市生涯学習課)



地下の鍾乳洞が侵食・陥没を繰り返してできた、高さ約40mのアーチ状の天然橋。「羅生門」の名にふさわしい圧巻のスケールで、周囲にはサガリヒツジゴケをはじめ希少な動植物も自生する。



「羅生門」駐車場横の「さくら公園」は、春になるとさまざまな種類の桜が咲き誇る

高さは約40m!



「羅生門」周辺は、7月初旬に黄金の光を放つヒメボタルが乱舞する。幻想的な光景が見られるのはわずか10日間ほど

そば打ち体験!



「そば打ち体験」(有料、要予約)の様子。そば粉とつなぎをあわせてまとめたら、麺棒で伸ばし麺切りへ。熟練の店主がやさしく指導してくれるので初心者でも安心

5 そば道場 田舎屋 そばどうじょう いなかや

新見市草間8729-2
☎0867-74-2077



カルスト台地が広がる新見市草間産のそば粉で打つ、香り高いそばが評判の食事処。郷土料理「けんちんそば」が名物で、自分で打ったそばをその場で楽しめる「そば打ち体験」もできる。



完成したそばでランチタイム。自分で打った味は格別のおいしさ



6 新見市法曾陶芸館(猪風来美術館)

にいみしほうそうげいかん(いふうらいびじゅつかん)

新見市法曾609
☎0867-75-2444



地域の歴史遺産・法曾焼の保管・展示のほか、館長である縄文造形作家 猪風来氏の作品も多く展示している。



廃校となった小学校を再生。陶芸教室も開催している



豊かな自然と温泉、文化に浸る

北西・南西エリア



Northwest and Southwest Areas



新見市の山間部にある2つのダム湖を中心とする北西エリアと、貴重な湿生植物が自生する湿原や日本一の親子孫水車のある南西エリア。四季折々の自然と天然温泉、伝統文化に触れる体験を楽しんで。

1 夢すき公園(親子孫水車)

ゆめすきこうえん(おやこまごすいしゃ)

新見市神郷下神代1977-1
☎0867-92-6577



日本一の「親子孫水車」で知られる公園。備中北部で古くから伝わる奥備中神代和紙の歴史を展示する「紙の館」もあり、オリジナルのうちわやハガキを作る「紙すき体験」も人気。敷地内にある牧場直営のレストランでは、上質な独自ブランド和牛「千屋花見牛」を使った料理が堪能できる。



紙すき体験



上質なブランド和牛と地元産の野菜をたっぷり使ったメニュー。ランチにもおすすめ

7 絹掛の滝 きぬかけのたき

[新見市指定名勝]

新見市草間12258-1付近
☎0867-72-6136
(新見市商工観光課)



高さ約60mの断崖から流れ落ちる名瀑。岩肌に白絹を掛けたような気品のあるさまから、その名が付けられたという。国道沿いにあり、車中やJR伯備線からも雄姿を眺めることができる。



水車のそれぞれの直径は、親13.6m、子6m、孫4.5m。まるで親と子、孫が並ぶような姿が名前の由来



4 グリーンミュージアム神郷温泉

グリーンミュージアムしんごうおんせん

新見市神郷高瀬3188-1
☎0867-93-5106



高瀬川ダム湖畔にある健康リゾート施設。温泉棟には、内湯と檜の露天風呂があり、湯に浸かりながら四季の自然を満喫できる。宿泊施設もあり、スポーツ施設、キャンプ場も併設している。

→キャンプ・アウトドア情報 P.16、→宿泊情報 P.17



1・2.ラドン療養泉の湯。2020年7月に改装された檜の露天風呂と内湯がある 3.和室の宿泊施設やバンガロー、コテージもある 4.全面天然芝のグラウンドはサッカーなどのスポーツ合宿にも最適

2 鯉が窪湿原 こいかくぼしづげん

【国指定天然記念物】

新見市哲西町矢田4113-101
☎0867-94-2347(管理事務所)
☎0867-94-2111(新見市哲西支局)



「西の尾瀬」と呼ばれる湿原は、珍しい湿生植物や水生植物など300種類以上が自生し、広さは約3.6ha。敷地内には約2.4kmの遊歩道が整備されており、表情を変える自然を楽しみながらのんびりと散策できる。

限られた地域でしか見られないオグラセンノウ



水と植物が織りなす清らかな光景に心が洗われる。写真映えスポットとしても人気



- 1.鯉が窪湿原から車で約10分の場所に位置する道の駅
- 2.この地域でしか採れない「哲西栗」を使ったソフトクリームも人気
- 3.売店内にある、縁結びの神をまつる「恋鯉神社」

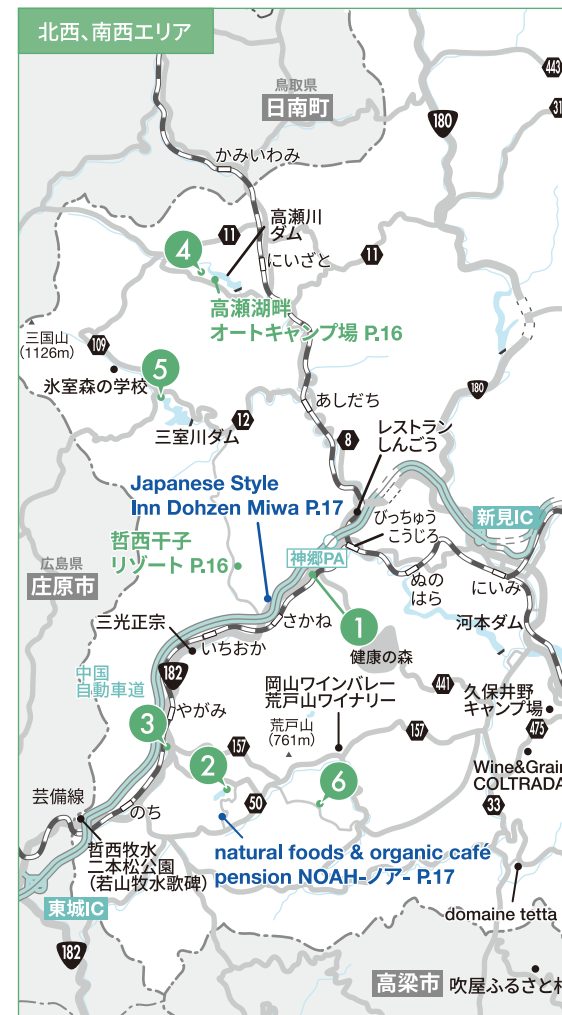


3 道の駅 鯉が窪 みちのえきこいかくぼ

新見市哲西町矢田3585-1
☎0867-94-9017



地域の特産品や新鮮な野菜などを販売する道の駅。もちもちとした食感とお米のほのかな甘みがおいしい米粉パンの専門店や、地元食材をたっぷり使ったレストランなどもある。



5 三室峡 みむろきょう

新見市神郷油野3510-1周辺
☎0867-92-6112
(新見市神郷支局)



5月頃には峡谷に群生するシャクナゲ、夏は深緑、秋は紅葉と、移ろいゆく自然を楽しめる。シャクナゲと紅葉の時期には、地域の特産品が購入できる祭りも開催される。

6 哲多すずらの園(おもつぼ湿原)

てつたすずらのその(おもつぼしづげん)

新見市哲多町田淵
☎0867-96-2112(新見市哲多支局)



関西より西では珍しいすずらんの自生地。5月下旬から6月初旬に約2万株の可憐なすずらんが咲き誇る。約2haの「おもつぼ湿原」では、貴重な湿生植物や生き物にも出会える。

中央エリア



中世の時代、京都・東寺などの荘園として栄えてきた新見。
JR新見駅から歩いて15分ほどの新見御殿町には、
江戸や明治時代の風情や歴史を伝える建物が残っています。
新見美術館も駅から近いので、散歩がてら一緒に巡ってみませんか。

新見御殿町を中心に、約300年の歴史がある御神幸武器行列「土下座まつり」などのイベントも開催 (P.17)



Central Area



A 元料亭 松葉
明治から昭和にかけて賑わった元料亭「松葉」。往時をしのばせる建物の内部には、貴重な食器などの展示もある

1 新見御殿町

【御殿町センター／太池邸／元料亭 松葉】
にいみごてんまち
【ごてんまちセンター／おおいけてい／もとりょうてい まつば】

新見市新見858周辺
☎0867-72-6660
(御殿町センター)



江戸時代に初代新見藩主・関長治候によって作られたまち。元禄時代は城を造ることができず、御殿(館邸)を建て、現在は「新見御殿町」と呼ばれている。「御殿町センター」を中心に、新見の近代商業の中心として栄えた「太池邸」や元料亭「松葉」など、当時の面影を色濃く残す商家や問屋などが軒を連ねている。

新見市街を見渡せる「城山公園」は市内屈指の桜の名所。シーズン中は約300本の桜が満開に。夜間のライトアップは特に幻想的



B 御殿町センター
藩主・関家まつわる資料の展示コーナーなどがある



C 太池邸
当時は新見初の百貨店として呉服をはじめさまざまな物を販売していた「太池邸」。現在は地域活性化の拠点施設として、イベント開催や立ち寄りスポットとして利用されている



2 新見美術館

新見市西方361
☎0867-72-7851



文人画家・富岡鉄斎の作品をはじめ、日本画家・横山大観や平山郁夫の作品など、約1200点の作品を収蔵。年間を通してさまざまな企画展も開催されている。日本の中世の歴史を紐解く「備中国新見庄」(京都・東寺などの支配下にあった荘園)の資料を展示するコーナーもある。

Let's walk around



Photo spot!

「新見美術館」のすぐそばに、新見市マスコットキャラクター「にーみん」がいるので探してみて



JR新見駅裏の高台に建つ美術館。喫茶室・ショップからは、枯山水の庭園や新見市街を一望できる



各地のマンホール蓋のデザインを紹介するマンホールカード。裏面に観光情報も掲載

観光情報はここで手に入れて

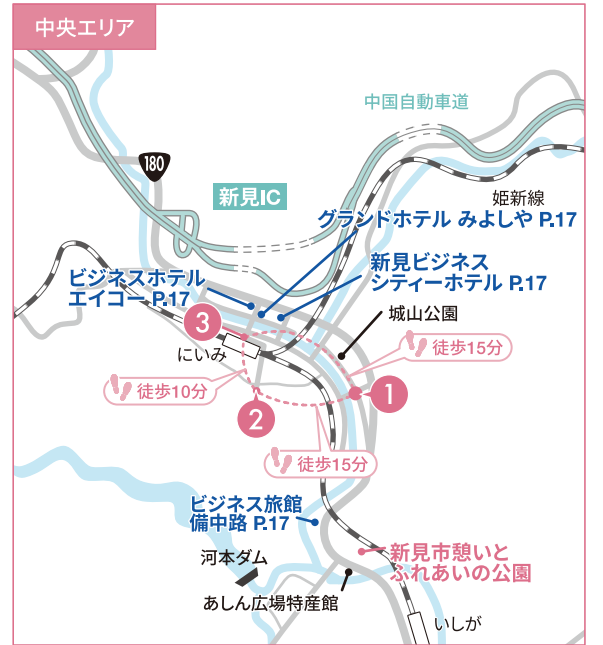
3 新見市観光案内所

(一社)新見市観光協会

新見市西方472-10
☎0867-72-1177



JR新見駅の目の前にある観光案内所。新見の特産品や土産品、にーみんグッズなどの販売のほか、レンタサイクル(有料)も。新見の観光や宿泊、グルメ情報などはまずここでチェックを。



..... 🚗 ファミリーで遊べる!少し足をのぼして立ち寄って



新見市憩いとふれあいの公園(ピオーネ球場)

新見市正田330
☎0867-72-6102



にいみしいこいとふれあいのこうえん(ピオーネきゅうじょう)

大型遊具や芝生広場があり、子連れファミリーに人気。野球場、グラウンドゴルフコースもあり、スポーツ大会やイベントなども開催されている。すぐ近くには、特産品が購入できる店や千屋牛が食べられる店もある。

人気の温泉と四季の自然に親しむ

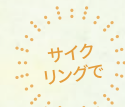
北エリア



アウトドア、スポーツ、癒やしが体感できる北エリア。心身をリフレッシュできる非日常のひと時が過ごせます。秘境や古き良き日本の原風景に出会えるのも、このエリアを巡る楽しみのひとつ。



Northern Area



自然と名所を巡ろう!

「別所アウトドアスポーツセンター」から「鳴滝」「七曲がり」へは自転車で約15分。清々しい空気と美しい自然をサイクリングで満喫して。



歩いてすぐ



2 用郷林道「七曲がり」ようごりんどう ななまがり 【土木学会選奨土木遺産】

新見市菅生6866-1付近
☎0867-72-6136
(新見市商工観光課)



高低差約30mの難所を越えるために作られた石積みのつづら折り林道。幾重にもカーブが続いており、明治時代に建設された石垣は今も当時のままの姿が残っている。

3 鳴滝 なるたき

新見市菅生6866-1付近
☎0867-72-6136
(新見市商工観光課)



約30mの滝は3段になっており、流れ落ちる音がとどろく。名前の由来は、約2km離れた麓の集落まで音が聞こえることから。苔むす岩や木々に囲まれ、清々しい空気に満ちている。

レンタサイクルはこちら!

4 別所アウトドアスポーツセンター べっしょアウトドアスポーツセンター

新見市菅生7189
☎0867-78-1115



千屋ダムや川に隣接し、サイクリングやカヌー、キャンプなどのアウトドアが満喫できる人気の施設。敷地内の小川では、魚のつかみ取り(要予約)もでき、とれたてをBBQで味わえる。

→キャンプ・アウトドア情報 P.15



バーベキューサイトは屋根付きなので、雨の日も安心

歩いて行けます!

冬はスキーと温泉を満喫!

5 いぶきの里スキー場 いぶきのさとスキーじょう

新見市千屋花見1336-1
☎0867-77-2266



「新見千屋温泉いぶきの里」に隣接するスキー場。キッズパークのほか、初級者から上級者向けの幅広いコースがあり、ファミリーで楽しめる雪のテーマパーク。スキーのあとは、温泉に浸かって疲れを癒やして。



野趣あふれる露天風呂。熱源は環境に配慮し、地元の木材を活用するバイオマスボイラを導入。木の温もりあふれる館内もモダンに一新。地元の特産品が並ぶお土産コーナー、ゆったりとした休憩スペースやレストランもあり、旅の拠点にも最適

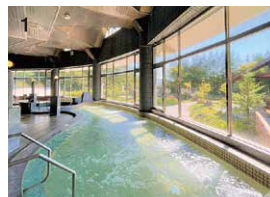
1 新見千屋温泉いぶきの里

にいみちやおんせんいぶきのさと

新見市千屋花見1336-5
☎0867-77-2020



2021年8月にリニューアルオープン。炭酸水素イオンが多く美肌の湯と言われている天然温泉施設。宿泊・日帰り入浴ができ、レストランでは新見が誇るブランド牛「千屋牛」が堪能できる。グラウンドやキャンプ場も併設しており、団体やファミリーでの利用にもうれしい。近隣にはスキー場や、釣った魚をその場で焼いて食べられる釣り堀もある。



1.自然を眺められる開放的な内湯のほか、サウナやジャグジーもある 2.無料で利用できる休憩スペース 3.館内のレストランでは千屋牛の本場で料理を堪能できる

→キャンプ・アウトドア情報 P.15

→宿泊情報 P.17



高梁川源流に位置する大自然

北東エリア



幕末の聖人にも縁のある北東エリアは、高梁川の源流域に位置し、澄んだ水に育まれた大自然が魅力。新緑や紅葉、雪景色など、四季折々の自然の美しい情景に心が洗われます。

North-eastern Area

秋から2月頃の早朝に条件がそろえば、真っ白な雲海が現れる。特に朝日に照らされる光景は、息を呑む美しさ



1 大佐山 おおさやま

新見市大佐小阪部・小南1付近
☎0867-98-2112
(新見市大佐支局)



深い山々が連なる中国山地の一部。中腹には広大な傾斜地やオートキャンプ場があり、ファミリーでも大自然を満喫できるスポット。また、寒暖差のある気候を活かし、紅茶の葉が栽培されている。パラグライダーが飛び立つ山頂から見渡す景色は、山々が広がっており、条件がよければ中国地方の最高峰・大山も眺められる。

茶畑を眺めながら
香り高い紅茶を
楽しんで



清々しい山頂からの眺望



1・2.「大佐山オートキャンプ場」は大型遊具があり、ファミリーにも人気 3.広い草原はフォトスポット



➡キャンプ・アウトドア情報 P.16

2 大佐山田方谷記念館 おおさやまだほうこきねんかん

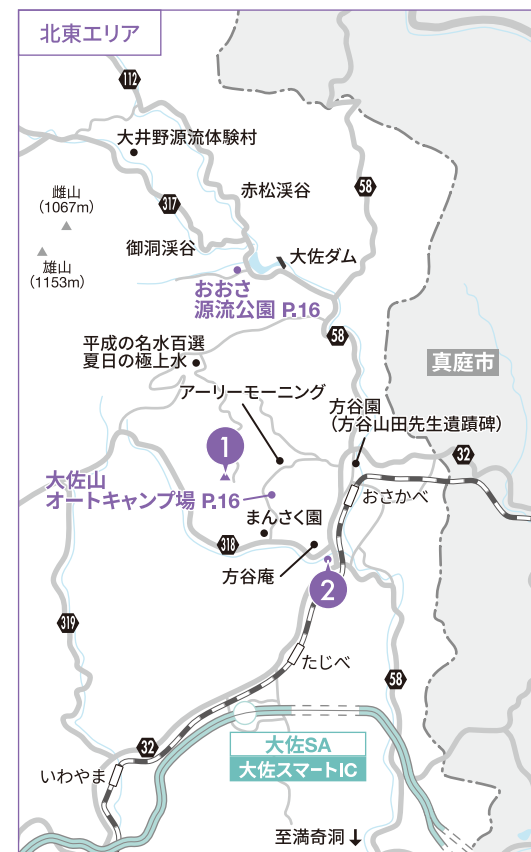
新見市大佐小南323-3
☎0867-98-4059



幕末に陽明学者、藩政改革者、教育者として活躍した備中聖人・山田方谷の資料や、山田方谷が書いたとされる大政奉還上奏文の草案、書などを展示。近くには、岡山県指定史跡「方谷庵」や終焉の地「方谷園」には勝海舟題字の「方谷山田先生遺蹟碑」が建っている。



1. 大佐ダム周辺にある「おおさ源流公園」(⇒P.16参照) 2.「御洞渓谷」では、毎年5月には石楠花が咲き誇り、真冬には高さ10mにも及ぶつらが眺められることも 3.「御洞渓谷」からすぐの「赤松渓谷」も一緒に巡って



Lets Camp

アクティビティも絶景も満喫!

アウトドアスポットで

自然と遊ぶ!

標高が高く、真夏でも快適なアウトドアが楽しめる新見。

緑豊かな山々や清流などの大自然をフィールドに、キャンプや川遊び、BBQなど、とことん遊び倒そう。

新見市が誇る希少なブランド牛「千屋牛」でBBQ!

Fun

BBQ

片道約40分!
ハイキングで「まぼろしの滝」へ

北エリア MAP→P.12



たたらの森オートキャンプ場

たたらのもりオートキャンプじょう



新見市千屋花見1336-15
☎0867-77-2020
(新見千屋温泉いぶきの里)



温泉施設「新見千屋温泉いぶきの里」(⇒P.11参照)敷地内のキャンプ場。日帰り利用できる天然温泉やレストランなどがあり、子ども連れの家族も利用しやすい。徒歩約5分の場所には釣り堀があり、その場で焼いて食べることもできる。



北エリア MAP→P.12

雨が降ってもOK!
屋根付BBQ場あり!



別所アウトドアスポーツセンター

べっしょアウトドアスポーツセンター

新見市菅生7189
☎0867-78-1115

Delicious



サイクリングやダム湖でのカヌー、夏には魚のつかみ取り(要予約)や川遊びなど、自然を満喫するアクティビティを用意(⇒P.12参照)。キャンプサイトやログハウスがあり、シーズン中は多くのファミリーやグループ利用で賑わう。



気分はすっかり探検隊!
ドキドキ!わくわく!の洞窟探検!

北東エリア MAP→P.14



大佐山オートキャンプ場

おおさやまオートキャンプじょう

新見市大佐小南1
☎0867-98-3711



区画サイトやフリーサイト、トレーラーハウス、大型ロッジなどがあり、アウトドア初心者から上級者まで人気。さまざまなフィールドを活用したアクティビティも評判で、シャワートレッキングや洞窟探検などの体験メニューも充実。



Shower trekking

美しい渓谷を流れる天然水で爽快なシャワートレッキング!カヌーに乗って山々を眺めながらの水上散歩!



南西エリア MAP→P.8

哲西干子リゾート

てっせいほこリゾート

新見市哲西町上神代557
☎0867-94-9017
(道の駅 鯉が窪)



四方を山で囲まれた標高400~500mの谷間の集落にある宿泊施設。高梁川の源流である干子川での、溪流釣りやハイキング、バードウォッチングなどが楽しめる。



北東エリア MAP→P.14



おおさ源流公園

おおさげんりゅうこうえん

新見市大佐上刑部1834-1
☎0867-98-4777

Fresh air



大佐ダム周辺に整備された公園。高梁川源流での川遊びや釣り、ダム湖でのカヌーが人気で、木々に囲まれた芝生広場ではキャンプも楽しめる。周辺には「御洞渓谷」もあり、5月はシャクナゲ、秋は紅葉、冬は銀世界が広がる。



北西エリア MAP→P.8



高瀬湖畔オートキャンプ場

たかせこはんオートキャンプじょう



新見市神郷高瀬3216-1
☎0867-93-5106
(グリーンミュージアム神郷温泉)



「グリーンミュージアム神郷温泉」(⇒P.8参照)のすぐそばにあるオートキャンプ場。温泉施設の敷地内には、グラウンドや全天候型の施設のほか、バンガローやコテージ、レストランなどもあり、アウトドア初心者も安心して利用できる。



Culture & History

新見をもっと楽しもう!

文化・歴史を感じられる
イベントなどの情報は
こちらから



新見市内の文化・歴史に関する情報を厳選してお届け。
イベントなどの情報は、にいみ公式観光サイトをチェック!

300年以上前の歴史を

御神幸武器行列(土下座まつり)

新見藩初代藩主、関長治侯がお国入りをした300年以上前の江戸・元禄時代の歴史を背景に、現在も当時のしきたりを忠実に継承して行われる行列。
行列が通過する間、座るか腰を低くし、場所を移動しないという拝観心得があることから、「土下座まつり」とも言われている。
毎年10月15日に船川八幡宮、新見御殿町(P.9参照)を中心に開催。



太鼓と田植え歌にあわせて

太鼓田植

「さげ」と呼ばれる男性が打つ太鼓に合わせて田植歌が歌われ、「植え子」と呼ばれる花笠姿の早乙女が太鼓の拍子とともに苗を植えていく。太鼓でお囃子を奏でることから「はやし田植え」とも呼ばれる。田の神を称え、五穀豊穡を願う共同作業の慣習として伝承された未来に残したい民俗芸能。
南西エリアでは、イベントとあわせて披露される季節を彩る祝祭の風物詩!



400年間の記録を身近に

新見庄

新見庄は、北は千屋、北西は神郷高瀬まで広範囲にわたっていた、平安時代末期から戦国時代まで続いた京都・東寺等の荘園。市内には、当時を忍ばせてくれる史跡や文化財等があり、また京都東寺に伝わった国宝「東寺百合文書」(ユネスコ世界の記憶)には新見庄について約2,000点の古文書が残っており、特に新見の農村女性たまかきかき書状をつづった「たまかき書状」は中世の庶民の女性が書いた文書として全国的にも珍しい。

※荘園...古代・中世の私的所有・経営の土地



「たまかき書状」のレプリカが「新見美術館」(P.10参照)に展示されている。
※展示状況については「新見美術館」へお問い合わせください。

新見市マスコット キャラクター にーみん



ビオーネから生まれた
千屋牛の子どもだよ!
イベントに参加していたら
声をかけてね!

Niimi Whole Area Map

新見全域マップ



宿泊施設

新見市内の宿泊施設をご紹介します。

宿泊情報の
詳細はこちら



- 北エリア**
古民家民宿 千屋アウトドアハウス
こみんかみんしゅくちやアウトドアハウス
新見市千屋花見1005 ☎0867-77-2272
- 南西エリア**
Japanese Style Inn Dohzen Miwa
833 Shingo Shimokojiro, Niimi-shi
☎0867-92-6195
- 中央エリア**
グランドホテル みよしや
グランドホテル みよしや
新見市高尾2456 ☎0867-72-1131

- 北エリア**
旅館たえだ
りよかんだえだ
新見市千屋実1553 ☎0867-77-2101
- 南西エリア**
natural foods & organic café pension NOAH-ノア-
ナチュラルフーズ&オーガニックカフェ ペンション ノア
新見市哲西町大野部34-44 ☎0867-88-8287
- 中央エリア**
新見ビジネスシティーホテル
にいみビジネスシティーホテル
新見市高尾2481-8 ☎0867-72-1118

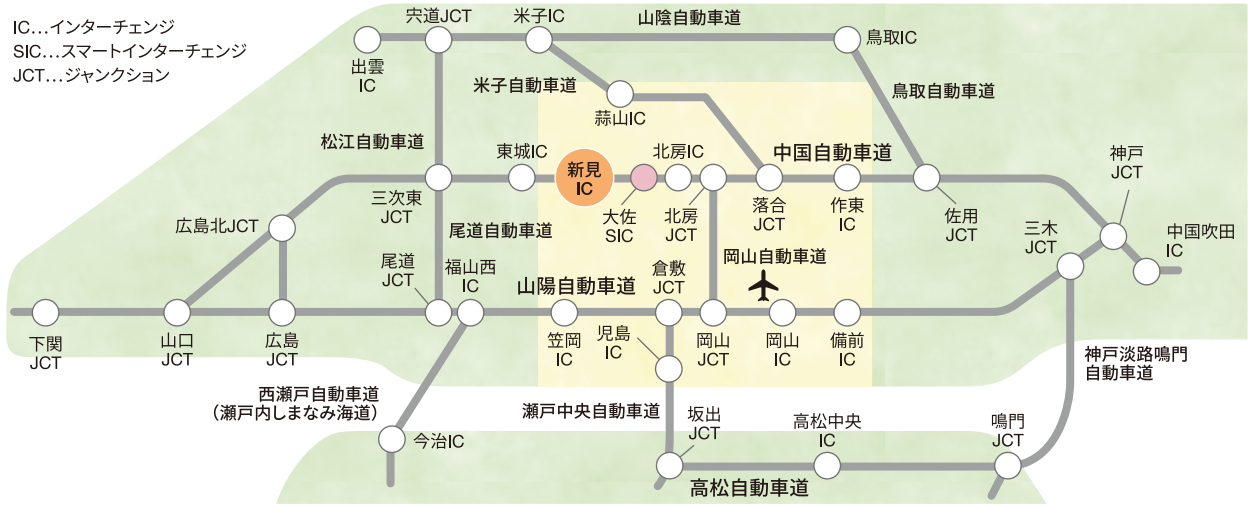
- 北エリア**
新見千屋温泉いぶきの里
にいみちやおんせんいぶきのさと
新見市千屋花見1336-5 ☎0867-77-2020
- 北西エリア**
グリーンミュージアム神郷温泉
グリーンミュージアムしんごうおんせん
新見市神郷高瀬3188-1 ☎0867-93-5106
- 中央エリア**
ビジネスホテル エイコー
ビジネスホテル エイコー
新見市高尾2485-1 ☎0867-72-1050
- 中央エリア**
ビジネス旅館 備中路
ビジネスりよかん びつちゅうじ
新見市正田98 ☎0867-72-3731

自動車

新見市内までの所要時間

- 大阪から...約2時間40分
- 米子から...約1時間30分
- 福岡から...約4時間30分
- 広島から...約1時間50分
- 高松から...約1時間40分
- ※ 梅田(大阪)から直通高速バスあり

IC...インターチェンジ
SIC...スマートインターチェンジ
JCT...ジャンクション



鉄道

岡山駅までの所要時間 ※新幹線のぞみ利用

- 東京駅から...約3時間20分
- 名古屋駅から...約1時間40分
- 新大阪駅から...約45分
- 広島駅から...約40分
- 博多駅から...約1時間50分

新見駅までの所要時間 ※在来線利用

- 岡山駅から(特急やくも)...約1時間
- 米子駅から(特急やくも)...約1時間10分
- 高松駅から(快速マリンライナー・特急やくも)...約2時間



飛行機

岡山空港までの所要時間 ※直通の場合

- 東京から...約1時間20分
- 札幌から...約2時間15分
- 沖縄から...約2時間15分



※交通アクセス、所要時間は諸事情により変わることがあります。

公式HP



にのみ公式
観光サイト

新見市商工観光課

岡山県新見市新見310-3
☎0867-72-6136

にーみんなのSNS



Instagram
@niimin_official



Facebook
にーみんな

(一社)新見市観光協会

岡山県新見市西方472-10
☎0867-72-1177

新見市観光協会のSNS



Instagram
@n_kankouk



Facebook
新見市観光協会



Twitter
@niimishi_kanko